

通院中の方こそ特定健診が必要です



Q. 定期的に病院に行って検査しているから受けなくても大丈夫でしょ。わざわざ受ける必要あるの？



その考え危険です！

A. 受ける必要があります。通院や普段の診察では見つからないリスクがあるからです。



通院・通常診療の目的

- ・ 病気の治療と経過観察
- ・ 今の体調を整える



特定健診の目的

- ・ 生活習慣病のリスクチェック
- ・ 自覚症状のない異常を見つける
- ・ 重症化を防ぐ



いつもの診察は『今の病気』のため。
健診は『まだ見ぬ病気』を未然に防ぐため。

特定健診実施医療機関は、こちらからご確認ください ➡



実施時期：6月～9月末まで

特定健診対象者：40～75歳の国民健康保険の方

特定健診料金：町の補助金で800円で受けられます
(通常は、約10,000円かかります)

お申込みは、住民環境課 国保年金係まで

☎0968・86・5727



特定健診を生活習慣病の予防に役立てよう

和木町健康管理センターでは、6月の8日間で国保特定健診・後期高齢者健診の集団健診を行います。健診結果では、体の状態や生活習慣の影響、病気のリスクなど、さまざまなことが分かります。あらかじめ内容を知っておくことで、健診の大切さを実感し、結果を日々の健康管理に活かすことができます。そこで今回は、「健診結果で分かること」を紹介します。

肥満度	…… 【計算式】BMI=体重(kg)÷身長(㎝)÷身長(㎝) 標準体重=身長(㎝)×身長(㎝)×22 BMI=22が一番病気にかかりにくいといわれています。
尿検査	…… 尿蛋白・尿潜血異常の人は、一度泌尿器科を受診しましょう。尿糖異常の人は、血糖値が高いと陽性となることもありますので、一度内科を受診しましょう。
血圧	…… 毎回高いようならご注意ください。健診時だけ高くなることもあります。高めに出る人は、自宅でリラックスしている時に、一週間同じ時間に血圧を測りメモしておき健診結果とメモを持って内科医にご相談下さい。
白血球	…… 体内に侵入するウイルスや細菌を撃退する白血球。その数が増えているときは、体内のどこかで炎症や病気があることを示しています。
血小板	…… 血を止める働きをします。少ない人や極端に多い人は内科医にご相談下さい。
貧血検査	…… 赤血球や血色素の数値が低い人は、貧血を起こしていますので原因を調べ、治療の必要がありますので、内科医にご相談下さい。また、食生活にも気をつけましょう。
肝機能	…… 肝臓に障害が起こると、肝臓に含まれる酵素が血液中に漏れ出してくるため値が上昇します。
脂質代謝	…… 数値が高いと動脈硬化を進めます。食べ過ぎや飲酒量・夕食のまとめ食い・間食などに気をつけましょう。 HDL(善玉)コレステロールは、余分なコレステロールを回収して動脈硬化を防ぐ働きをします。 LDL(悪玉)コレステロールは、数値が高いと単独で動脈硬化を進める原因となります。
腎機能	…… 腎機能が低下すると、値が増加します。また、脱水になると腎臓に負担がかかるので、こまめに水分補給をしましょう。
尿酸	…… 尿酸値が高い状態が続くと、激痛をともなう痛風発作を引き起こします。
糖代謝	…… 数値が高い人は、内科で再検査して下さい。糖尿病が疑われます。
眼底	…… 眼底カメラで目の奥の網膜を撮影することにより、血管の動脈硬化がわかります。

健診は病気の発見だけでなく、体の異常を早期に発見する重要な役目があります。

当センターでは、健康診断の結果「要精密検査」と判定された人に対して、医療機関へ早期受診していただくためのご案内を送付しています。

しかしながら、なかなか医療機関への受診が確認できない状況にあります。

せっかく受けた健康診断を、より有意義なものにするためにも、要精密検査の結果であれば、必ず医療機関を受診しましょう。